

平成26年度 年間読書のすすめ 宇都宮短期大学附属中学校

	書名	著者	内容	発行所
				価格
自然科学	数とは何か？ ～1, 2, 3から無限まで数を考える13章～	小林 道正	「数って何？」あなたはどうに答えるか？「あらためて聞かれると、うまく答えられない」「そういえば数って何だ？」「数について理解を深めたい」。さまざまな数についてとりあげていく。	ベレ出版 1,575
	脳に悪い7つの習慣	林 成之	脳は気持ちや生活習慣でその働きがよくも悪くもなる。この事実を知らないばかりに、能力を後退させるのはもったいない。脳に悪い習慣と思われるものを、脳の仕組みからわかりやすく解説。	幻冬舎新書 799
	〈2013年課題図書〉 ホタルの光はなぜだけ光る生き物をめぐる身近な大冒険	大場 裕一	発光生物研究の第一人者が、発光生物の見つけ方や、光のなぜや疑問を解こうとする活動を紹介していきます。「ホタルのさなぎは、2色で光っている」「脂肪を燃やす遺伝子が、光りを発する遺伝子に進化した」など、新発見も満載です。	くもん出版 1,400
	脳がさえる15の習慣 ～記憶・集中・思考力を高める～	築山 節	脳は思考・運動・感情系機能をコントロールする。思考系を使わないと、感情系の「楽をしたい」に支配されてしまう。「記憶・集中・思考力」を育てるにはどうするか」をすぐに実践できる方法が満載。	日本放送出版協会 735
	どこからくる？けいたい電話の電波のはなし	小葉竹 ゆみ	多くの人びとの生活を劇的に変えた、べんりな道具、けいたい電話。けいたい電話は、なぜどこにいてもつながるの？著者ははくみを調べはじめる。資料にうろうろ調べるうちに、小さいころからのなぞだった、電波の正体も見えてきた。	アリス館 1,123
社会科学	タマゾン川 多摩川でいのちを考える	山崎 充哲	多摩川をモチーフに、「いのちの大切さ」「環境問題」「人間と川との関係」についてやさしく語りかける実話。「おさかなポスト」、移動水族館などボランティア活動や体験を紹介。親と子が思いや理解を深められる一冊。	旬報社 1,620
	14歳からの哲学 ～考えるための教科書～	池田 晶子	人には14歳以後考えておかなければならないことがある！今の学校教育には欠けている、14、5歳からの「考える」ための教科書。「自分とは何か」など30のテーマを取り上げます。	トランスビュー 1,260
	中高生のための「かたづけ」の本	杉山 明子 佐藤 剛史	部屋や家の中がキレイになるだけでなく、人生が変わるきっかけを産み出す「かたづけ力」。その「かたづけ力」が社会に出た時にも役立つ力であることを説明する。	岩波書店 907
	13歳からの論理トレーニング ～正しく考える基礎が身に付く145問～	小野田博一	日常の論理は相当いかにげん。「論理そのもの」の訓練で本当の論理思考を手に入れる。中学生から大人まで楽しめる論理トレーニングの本。理詰めで考える練習をしましょう。	PHPエディターズ・グループ 1,260
	世界を信じるためのメソッド ～ぼくらの時代のメディア・リテラシー～	森 達也	メディアが伝える情報は正しいと思込んでいないか？メディアは情報を発信するが、受けとめるのは自分自身。メディアに踊らされてしまう前に、メディアが伝える情報とは何かを考えてみましょう。	理論社 1,260
	逆説の日本史(11)	井沢 元彦	著者は、秀吉を「明確な天下統一のプランはなかった」「常人を越えた『大悪人』であり『大天才』である」と述べ、新しいペラルな秀吉像を提示する。小説仕立てが多い秀吉の生涯を真実追求の姿勢で記す。シリーズはどれを読んでも手応えあり。	小学館文庫 690
歴史・戦争	地雷ではなく花をください	柳瀬 房子	今、地球上に1億1000万個の地雷が埋められ、1日に約70人が犠牲になっている。兵器を取り除き、代わりに花を植えられたらどんなに素晴らしいことか。本当の平和を取り戻すために…。	自由国民社 1,600
	私には浅田先生がいた	康 玲子	70年代、神戸。高校に入学し、在日を隠す生活に違和感を感じた私は、担任の先生から「何で本名で学校に来てへんの？」と問いかけられる。今は亡き先生との日々を振り返り綴る手記。	三一書房 1,299
	ものの始まり50話 ～文明の源をさぐる～	近藤 二郎	パンはいつごろできたのか？ チーズ、ワイン、ビールは？日用品から学校、ゲームまで身近な50のルーツを豊富な挿絵でたどる。日常から文明の起源を学べる楽しい歴史読みもの。	岩波書店 819
	アンネの日記 完全版	アンネ・フランク	15歳で戦争の犠牲となったユダヤ人少女アンネ＝フランク。その日記からは、戦争の悲惨さばかりでなく、思春期の夢や悩みも生き生きと伝わってくる。	文春文庫 899
	母は枯葉剤を浴びた	中村 梧郎	ベトナム戦争中、空中から散布された枯葉剤。浴びてしまったベトナムの母親たちを襲う異常出産。帰還したアメリカ兵たちのガンや皮膚炎。生々しいカラー写真から伝わる戦争の現実には痛ましい。	新潮文庫 740
	おとなはなぜ戦争するの	子どもの声を聞く児童文学の会	イラク戦争に際し、世界中で巻き起こった戦争反対の声。日本の各地でも子どもたちが戦争反対を訴えた。イラクの子らに思いを寄せ、平和を願う日本の子どもたちの声と行動。	新日本出版社 1,680
	今日われ生きてあり	神坂 次郎	僕の生命の残りをあげるから、おばさんはその分長生きしてください…。空に散っていった特攻隊少年飛行士たちの不滅の記録。	新潮社 460

	書名	著者	内容	発行所
				価格
小説	坊ちゃん	夏目 漱石	「親譲りの無鉄砲で子どもの時から損ばかりしている。」という主人公「坊ちゃん」が教師となって繰り広げる痛快な出来事の数々。「山嵐」や「赤シャツ」などのユニークな登場人物にも注目。	新潮文庫 300
	羅生門・鼻・芋粥	芥川龍之介	日本古典「今昔物語」が原点の物語「鼻」。鼻が異常に長い男が周囲の目をひどく気にする辛さが描かれる。人が気にする以上に自分が気にするコンプレックス。共感を覚える作品。	角川文庫 380
	高瀬舟	森 鷗外	自殺未遂の弟を「助ける」ために殺した兄。彼が罪に問われるかがテーマの物語。弟を助けるために殺したのが罪になるのか。実際に兄が弟を「助ける」シーンでは複雑な思いに駆られるのでは。	集英社文庫 350
	山椒魚	井伏 鱒二	岩の中で数年間出られなくなっていた山椒魚。自由に泳ぎ回るカエルを洞窟に閉じ込めてしまう。山椒魚のカエルに対する嫉妬や、目に見えない何かに閉じ込められている感覚に共感できるのでは。	新潮文庫 460
	車輪の下	ヘルマン・ヘッセ	誇りと喜びにあふれ首都神学校に入学したハンスが見たものは、詰めこみ教育と規則ずくめの寄宿舎生活、反抗的な友人の放校。疲れ果てて戻った彼は機械工として人生を始めようとするが…。	岩波書店 483
	路傍の石	山本 有三	極貧の家に生まれ幼くして奉公に出された愛川吾一が、純真な心を失うことなく自らの運命を切り開いていくひたむきな姿を描く。	角川文庫 940
	二十四の瞳	壺井 栄	大石先生と12人の教え子の瀬戸内海の小島での物語。ユーモラスな人情が描かれつつ、戦争の不幸や貧しい者が常にしいたげられる世の中への怒りも静かに伝わってくる。	新潮文庫 420
	神様のカルテ	夏川 草介	栗原一止は信州の小病院の内科医。大病院で最先端医療を学ぶ選択肢もあったが、大病院に見放された患者たちと向き合う医者がいてもいいのではと悩む一止の背中を押してくれたのは…。	小学館 1,260
	下町ロケット	池井戸 潤	「お前には夢があるのか？オレにはある」研究者の道をあきらめ、家業の町工場佃製作所を継いだ佃航平は、製品開発で業績を伸ばしていたが、商売敵の大手メーカーからの理不尽な特許侵害で訴えられてしまう。その打開策は…。	小学館 720
	きみの友だち	重松 清	足の不自由な恵美ちゃんと病気がちな由香ちゃんはある事件の後誰とも付き合わぬ。優等生にひねた奴。弱虫に八方美人。物語にちりばめられた、本当の「友だち」の意味を探る連作長編。	新潮文庫 662
	一瞬の風になれ(全3巻)	佐藤多佳子	春野台高校陸上部1年神谷新二。スポーツテストで感じた疾走感。天才スプリンターが幼なじみの連と入った部活。監督は言う。「おまえらが競うようになったら、ウチはずいぶんチームになるよ。」	講談社 519～780
	博士の愛した数学	小川 洋子	家政婦の「私」は風変わりな数学者の世話をすることになった。博士は難しい数式は解けるが、80分しか記憶を維持できない。やがて博士と「私」と10歳の息子の3人に奇妙な友情が芽生える。	新潮文庫 515

さよなら、オレンジ	岩城 けい	自分が生きる道をつかみたい……。祖国を遠く離れ、子どもを抱えて暮らす女性たちは互いに支え合いながら各々の人生を切り開いていく。	筑摩書房 1,300
西の魔女が死んだ	梨木 香歩	中学に進んでまもなく、学校に足が向かなくなった少女まいは、初夏へと移り変わるひと月を西の魔女のもとで過ごす。西の魔女こと大好きなおばあちゃんから、魔女の手ほどきをうけるのだが…。	新潮文庫 452
聖夜	佐藤多佳子	少し早い、俺たちだけの聖夜。オルガンは特別な音で鳴った。18歳の少年が奏でる感動の音楽青春小説。聖書に噛みつき、ロックに心を奪われ、メシアンと格闘する眩しい少年期の終わり。	文藝春秋 1,450
政と源	三浦 しをん	弟子の徹平どにぎやかに暮らす源。妻子と別居し、一人さびしく暮らす国政。そりが合わないはずなのになぜか仲良いコンビ。そんな二人が巻き起こすハチャメチャで痛快だけどどこか心温まる人情物語。	集英社文庫 1,400
カラフル	森 絵都	死んだ僕の魂に妙な天使が現れ、他人の体に戻れという。生前の記憶のないまま、真という14歳の少年になり、家族や友達と過ごす。青春の迷いと希望をユーモラスに描く物語。	文春文庫 505

	書名	著者	内容	発行所
				価格
小	武士道シックスティーン	誉田 哲也	子どものころから剣道一筋、勝負にこだわる香織。日本舞踊から剣道を始めた自然体の早苗。両極端の二人は反発しながらひかれ合い、剣道に熱中していく…。痛快スポーツ小説。	文春文庫 660
	コンビニたそがれ堂 ～奇跡の招待状～	村山 早紀	風早の街の駅前商店街はずれ、赤い鳥居が並ぶ辺りに、夕暮れに現れる不思議なコンビニたそがれ堂。大事な探しがある人はここで見つけれられるという。さて、今日その扉をくぐるのは―？	ポプラ文庫 599
	沈黙	遠藤 周作	17世紀の日本の史実・歴史文書に基づいて創作した歴史小説。江戸時代初期のキリタン弾圧の渦中に置かれたポルトガル人の司祭を通じて、神と信仰の意義を命題に描いた。	新潮文庫 578
	夏の庭 The Friends	湯本 香樹実	妙な好奇心から、小六の少年三人組は近所の老人の行動を見張る。言葉を交わすうち少年も老人も変わっていく。生と死の意味が、老人と少年のユーモラスな交流を通して胸に迫ってくる。	新潮文庫 460
	穴	小山田 浩子	仕事を辞めて夫の田舎に移り住んだ夏。見たことのない黒い獣の後を追ううちに、私は得体のしれない穴に落ちる。夫の家族や隣人たちも何かがおかしい。平凡な日常の中に時折顔をのぞかせる異世界。	徳間書店 1,470
	明日につづくリズム	八束 澄子	高校受験を前に、夢と現実のあいだでゆれ動く千波。大好きな歌に自分を重ね、家族、友情、将来、ふるさと…様々ことに思いをめぐらせ、大人への一歩を踏み出す。2010年度課題図書。	ポプラ社 1,365
	十五少年漂流記	ヴェルヌ	「少年諸君よ、どんな危険な状態におちいても、秩序と熱心と勇気があれば、きりぬげられないことはないのである」少年達のために書かれた冒険物語。	新潮文庫 400
	竜馬がゆく	司馬遼太郎	激動の幕末の時代を颯爽と駆け抜ける異端児。徳川体制に疑問を抱き、一脱藩浪人として強い信念を持ち、日本の明日を信じる姿にひきつけられ、幕末の日本も夜明けを迎える。	新潮文庫 670
	リレキシヨ	中村 航	ある日とつぜん、擬似姉弟になった「僕」と「姉さん」との奇妙な生活を描いた第39回文芸賞受賞作。社会から逃避しつつける「僕」と、浮世ばなれした登場人物たちが繰り広げる物語は、不思議なリアリティーと、はかなさが立ちあがってくる現代のおとぎ話。	河出文庫 648
	〈2013課題図書〉 星空ロック	那須田 淳	14歳の少年レオの成長物語。中学2年の夏休み、家族3人のドイツの旅が、先に現地入りしていたお父さんが盲腸炎。お母さんは出発を早め、レオはあとから一人、ベルリンへと向かうことになる。初めての異国でのレオの珍道中がはじまる。	あすなろ書房 1,400
	りょうさいしい 聊斎志異	蒲松 志異	「道士と梨の木」「コオロギになった少年」「美女に化けた狐」など、中国・清時代の民間伝承をもとにした怪異物語集。妖術、幽霊、狐、鬼が登場する、不思議で怖く、ユーモラスな31編。	岩波少年文庫 714
	図書館の神様	瀬尾まいこ	自分のやりたいことが見えないまま、ある学校に赴任した女性教師。学校図書館で出会った男の子との対話を通し、傷ついた心が癒されていく。2人の何気ないやりとりから少しずつ心が通い合い…。	ちくま文庫 525
	〈2013課題図書〉 語りつぐ者	パトリア・ライ リー・ギフ	エリザベスは、絵の中の少女の目を見た。羊皮紙に描かれたズイーと呼ばれた少女の目は、黒つぼいしみ。だが、そのせいで生き生きとした表情で親しげに見かえす。200年後の語り手を得て、肖像画の少女が鮮やかによみがえる	さ・え・ら書房 1,600
	トリツカレ男	いしい しんじ	ジュゼッペのあだ名は「トリツカレ男」。何かに夢中になるとそればかり。そんな彼が、風船売りに恋をした。無口な少女の名は「ベチカ」。悲しみに凍りついた彼女の心をあたためようとするのだが…。まぶしくビューなラブストーリー。	新潮文庫 432
老人と海	ヘミングウェイ	老人サンチャゴ。海の男である彼には不屈の闘志があった。小舟で沖に出て1週間、遭遇した巨大なカジキまぐろ。殺すか殺されるか…。いつしか大魚への熱い友情が生まれていた…。	新潮社 420	
ぼくがバイオリンを弾く理由	西村すぐり	天才的な素質を持ちながらバイオリンコンクールで落選したカイトは、バイオリンを封印してしまう。しかし1枚の楽譜との出会いにより、彼の心は変化していく…。	ポプラ社 1,260	
フクロウはだれの名を呼ぶ	ジーン・クレイグ ヘット・ジョージ	フクロウを守るため、森では木の伐採が禁止されて父親が職を失った。息子はフクロウに敵意を抱き殺そうとする。そこでフクロウのひなを拾う。自然と人間の関係をも感じさせてくれる物語。	あすなろ書房 1,365	
十二番目の天使	オグマンティーノ	「最近、何に感動したろう…。」生きる望みを失っていたひとりの男と、野球が大好きな小さな少年との心あたたまる感動のストーリー。全米ベストセラー小説の翻訳化。	求龍堂 1,260	
昨夜のカレー、明日のパン	木皿 泉	悲しいのに幸せな気持ちにもなれるのだー。7年前25歳で死んだ一樹。遺された妻のテツコと一緒に暮らし続ける一樹の父ギフとの何気ない日常にこめられたコトバが心打つ連作長編。	河出書房新社 1,400	

	書名	著者	内容	発行所
				価格
エ ッ セ ー ・ 評 論	覚悟の磨き方 超訳 吉田松陰	池田 貴将	「不安と生きるか、理想に死ぬか」誰よりも遠くを見据えながら、幕末を熱く駆け抜けた天才思想家吉田松陰。彼の心・志・士・友・知・死についてのリアルな人生哲学の言葉。	サンクチュアリ出版 1,620
	まちがったっていいじゃないか	森 毅	人間、ドジだってかまわない。誤りを恐れずにジグザグ進んでいこう。まちがったら、やり直せばよいのだ。少年の頃を思い出し、若い読者に人間の複雑さ、面白さを伝えて肩の力を抜かせてくれる人生論。	筑摩書房 525
	どくとるマンボウ青春期	北 杜夫	敗戦直後、青春の日々をマンボウこと北杜夫氏はどのように送ったか。粗野と騒がしさに塗りつぶされた旧制高校生活の中で、独特の吹き出さずにはいられないユーモアがてんこ盛り。	新潮文庫 540
	森よ生き返れ	宮脇 昭	大学の先生でありながら、世界中の森の再生を行う筆者。恒常性を保つには多様な木が生えているから。人工林の弱さを指摘し、自然の偉大さ、人間の知恵の稚拙さを思い知らされる本。	大日本図書 1,418
	もものかんづめ	さくらももこ	著者の本心の実像はちびまるこちゃんの中に詰まっている。『もものかんづめ』で起こる身辺雑記の顛末は、みな小学校3年生の乙女心が仕出かしたことなのだ。	集英社文庫 409
	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	著者がコペル君の精神的成長に託して語り伝えたもの。それは人生をいかに生きべきかと問うとき、常にそれが社会科学的認識とは何かを意識して問われねばならぬというメッセージであった。	岩波文庫 840
	こころの処方箋	河合 隼雄	真剣に悩むこころの心の震えを聞き取り、トラブルに立ち向かう勇気を与えてくれるだろう。短い一章一章に込められた偉大な「常識」の力が、必ず助けになる。	新潮文庫 420
	足でつかむ夢 ～手のないぼくが教師になるまで～	小島 裕治	4歳の時に交通事故で両手・両腕を失った。多くの不安、苦労、挫折を乗り越えて、日本で初めて「手のない先生」として中学校教諭になるまでを綴った感動のエッセー。	ブックマン社 1,300
	漢字と日本人	高島 俊男	日本語の難しさや不条理さが納得できる本。言語は音声があつて文字で表すものだが、日本語は文字が主で音声は従、という世界でただ一つの奇妙な言語だと主張する。	文春新書 756
	夢をつなぐ ～山崎直子の四〇八八日～	山崎 直子	2010年4月20日、山崎直子は宇宙ステーションでの活動を終える。宇宙飛行士候補者試験に合格して4,088日間。過酷な訓練、葛藤を前向きな心で克服していく。2011年課題図書。	角川書店 1,470
	新版 きけわたつみのこえ	日本戦没学生記 念会編	酷薄な状況でも鋭敏な魂と明瞭な知性を失わず、祖国と愛する者の未来を憂いて死んでいった学徒兵たち。1949年の刊行以来、無数の読者の心をとらえ続けた戦没学生たちの手記。	岩波文庫 903
	奇跡のリンゴ	石川 拓治	農業も肥料も使わず、たわわりにりんごを実らせる…。偉大な奇跡を成し遂げた男の物語。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で紹介され、大反響を呼んだりりんご農家の挑戦の日々を書籍化。	幻冬舎 1,365
	中東から世界が見える イラク戦争から「アラブの春」へ	酒井 啓子	デモによって独裁政権を倒した「アラブの春」から数年。中東地域は今も混乱し、テロや内戦が続いている。中東問題を知りたい人のための初めの一冊。	岩波書店 907
	車イスから見た街	村田 稔	障がいをもつ人にとって、街や社会はどうあればいいのか。家族や友達に支えられながら自ら道を切り開いてきた車イスの弁護士が体験を通して語りかける。	岩波ジュニア新書 777
わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女	ユスフザイ・マラ ラ	「すべての子供に教育を」と訴え、武装勢力に銃撃された少女の手記。テロにより生活が一変した家族の話であり、女の子が教育を受ける権利を求める闘いの記録である。	学研パブリッシング 1,728	
明日もまた生きていこう ～18歳でがん宣告を受けた私～	横山友美佳	ハレーボール生活が一気に闘病生活になった横山さんの実話。この人のように強く生きられるだろうか、といういろいろと考えさせられる本。	マガジンハウス 1,365	
自然科 学	ペンギンが教えてくれた物理の話	渡邊 佑基	野生動物たちの生活は人間の眼に触れず、生態は謎に包まれたままである。その動物たちのダイナミックな活動から、物理メカニズムを読み解き、その進化的な意義に迫る。	河出書房新社 1,512
バカなおとなにならない脳	養老 孟司	こどもたちからの容赦のない質問の数々に、養老先生がはじめて答えます。養老哲学への、掛け値なしのもっともやさしい入書。	理論社 1,260	
超巨大地震に迫る ～日本列島で何が起きて いるのか～	大木 聖子 一 起	日本列島を震撼させたM9.0の東北地方太平洋沖地震。なぜ起きたのか？正しい情報を踏まえながら、蓄積された地震研究の知見で今回の地震の全貌を捉え直し、今後の巨大地震を伝える。	NHK出版 777	